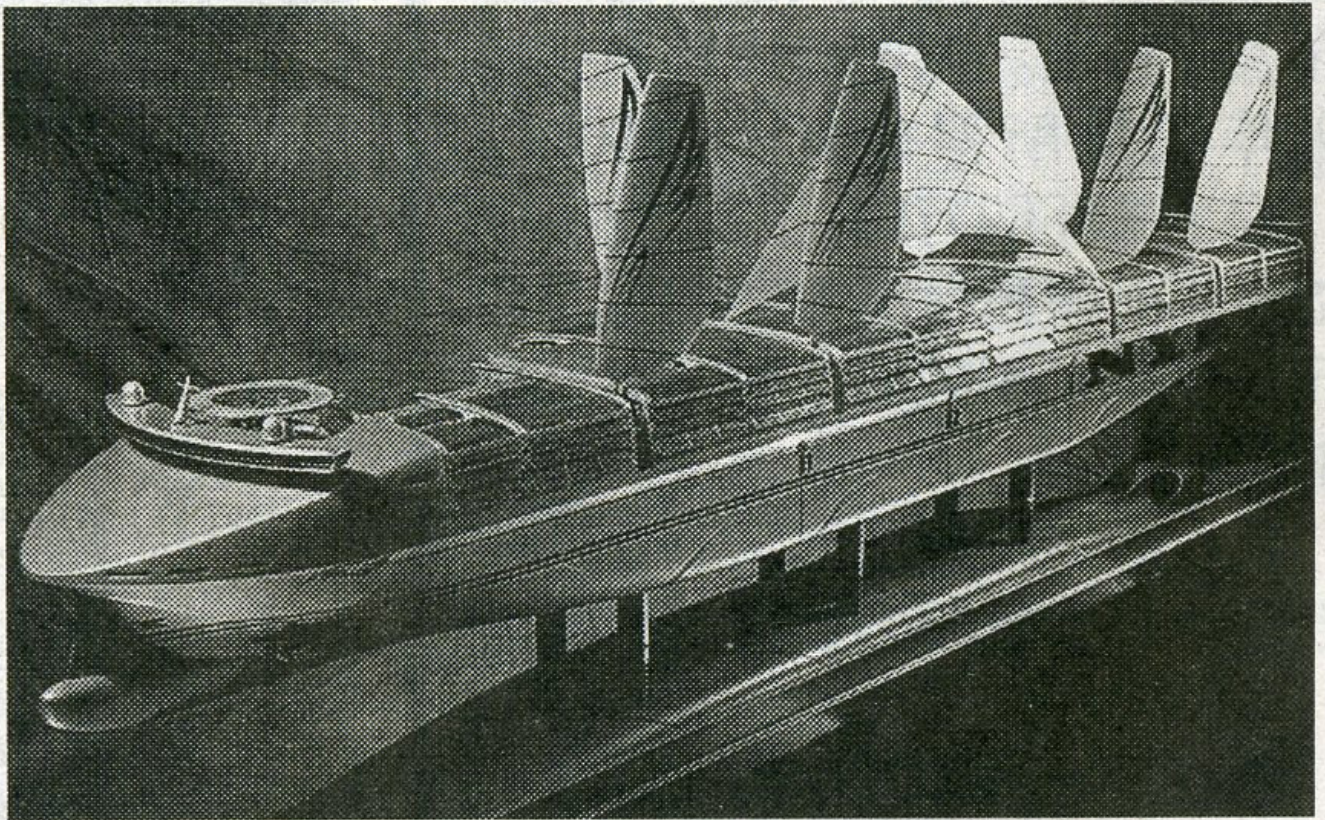


2009-04-17 毎日

燃料電池でCO₂大幅削減

郵船がエコシップ計画



「NYKスーパーエコシップ2030」の模型

030年の実用化を目
日本郵船は16日、2
指すコンテナ船「NY
Kスーパーエコシップ

2030」を発表した。燃料電池や自然エネルギーを使うことなどで、二酸化炭素（CO₂）の排出量を現在の船より69%削減できるといふ。30年までに実現可能とみられる技術を盛り込んだ。主な動力源は液化天然ガス（LNG）を燃料とする燃料電池で、CO₂を32%減らす。太陽光パネルを甲板に敷き詰め、収納できる帆をつける。

【位川一郎】

■ 郵船がエコシップ計画

船は、エコ分野で出遅れているが、可能性は大きい。第一に、重量をあまり気にする必要がなく、蓄電池を十分に積み込める。将来は、石油から発生する燃料の使用を完全に0にできる可能性がある。

- 動力として、風の力（帆）を直接利用する。
- 風車を設置して、電力を貯蓄する。
- 太陽電池パネルを利用して、電力を貯蓄する。
- 潮力を利用して、船の補助動力とする。
- 潮力を利用して発電し、電力を貯蓄する。
- 海底の水を循環して、冷暖房に利用する。